

## 桐山勉氏（はやぶさ国際特許事務所）のプレゼンテーション - 9月度ATIS例会（その2） -

9月度の例会で、はやぶさ国際特許事務所顧問の桐山勉氏にプレゼンテーションをしていただきました。演題は「PAT-LIST 研究会の特許情報解析を通じて学んだこと」でした。

桐山勉さんは帝人知的財産部、帝人知的財産センターで特許情報調査に従事されサーチャーの世界では知らぬ人がいないほどの専門家で著名な方です。特許検索競技大会の立上げに中心となって尽力され、現在でもフィードバックセミナー等でアドバイスをされています。

プレゼンテーションではこれまでのご経験を踏まえ、精神編、理論編の大きな枠組みを示した上で、具体的に役に立つ特許マップをどう作り、どう見せるかということ、サーチャー自身の成長と合わせ解説されました。

方法論で示した内容は、知財関係者の役割として、企業の研究開発戦略や事業戦略の検討、意志決定に係わる重要な指摘でありました。

何を見せるかを「焙り出す」プロセスが大事でここに相当頭を使わないといけない。それを助けるのが ICT（Information Communication Technology）であること、非特許情報も活用すること、数枚の絵を一つにまとめて見せること（順番に見せても最初の方は忘れられてしまう！）など、大変参考になるプレゼンでした。

来年3月の例会では、「桐山理論に基づく特許解析のレベルアップ（仮題）」と題して再度ご登場いただきます。今回紹介いただいた手法をさらに掘り下げて解説していただけるものと思います。どうぞご期待下さい。



桐山勉氏（はやぶさ国際特許事務所）のプレゼン風景